



発行所

一般社団法人 全日本木材市場連盟
編集・発行人 小合信也
東京都文京区後楽1-7-6
〒112-0004 林友ビル6階
電話 03(3818)2906
FAX 03(3818)2907
毎月1回1日発行
定価・年3,000円
(会員は会費に含まれています。)

30年度第2回理事会を開催 (東京・後楽園で)

全市連は11月12日(月)、平成30年度第2回理事会を後楽園・林友ビルで開催した。出席は理事36名・監事計2名の計38名。また、林野庁木材産業課の猪島康浩課長及び牛尾光課長補佐並びに業務課の田口護企画官に御出席頂いた。

〔会長挨拶〕

西垣会長は開会挨拶で、「効率的な加工・流通体制の整備、大ロット需要先への供給体制の整備等を目指す森林・林業再生プラン策定から9年が経過し、木材市場の役割もそろそろか、という時期もあったが、8月の正副会長・支部長会議の際に、林野庁を表敬し、牧元長官及び本郷次長とお話をして、政策提言を行い、10月には、林業・木材中央6団体で共同行動宣言2018を公表しました。その中で感じますことは、山元への利益の還元的重要性です。木材の持つ価値を最大限実現して、一円でも多く山元にお返しして、循環型社会形成に寄与するという使命は木材市場しか果たせないと考えます。そのためにも、全国各地の会員・支部の声をくみ上げ、連盟の活動に反映させていきたいと考えています。」等と述べた。

〔林野庁挨拶・情報提供〕

猪島康浩林野庁木材産業課長から、「豪雨、台風及び地震被害への御見舞い、国として復旧等に支援していく。平成29年の木材需給表が公表され、自給率が36・1%となった。森林経営管理法が成立し、「新たな森林管理システム」がスタート。国有林においても、長期大ロットによる木材供給の制度を検討中。国産材供給4千万㎡に向け、木材市場の中間土場、コーディネート等の役割に期待。人口減少社会において新設住宅着工の減少が予想される中、これまで外材が使われていた用途での国産材使用に向けて取り組む。平成31年度予算においてサプライチェーン構築に向けた事業費を要求しており、市場の支援・協力を。」等に言及した挨拶を頂いた。

〔質疑・意見交換〕

林野庁の説明等に関連し、質疑意見・見交換を行った。主な項目としては、「①CLTラミナ製造の設備等の課題②サプライチェーンについて③国有林のシステム販売 目的・相手方選定因子等について④長期大ロットの新たな販売と中小に配慮した販売委託について⑤外国人労働者導入の考え方について⑥林道と土地収用法等」

〔情勢報告・業務運営〕

用意した資料に基づき、事務局より次の事項について報告し、了解を頂いた。

- ①平成30年夏・秋自然災害被害状況等
②JAS展(スケジュール等)
③共同行動宣言2018
④林業・木材産業関係税制及び金融についての要望
⑤外国人受入アンケート結果
⑥木材アドバイザー講習会・資格更新等
⑦需給情報共有活用対策事業
⑧CW法関連資料(登録状況)
⑨岡野健氏グリーン賞受賞
⑩未来投資戦略等の概要
⑪建築基準法改正のポイント
⑫知事会(国産材活用PT)概要
⑬平成29年木材需給表
⑭中国木構造設計規範改訂・韓国違法伐採法



理事会西垣会長挨拶

森林・林業の再生に向けた共同行動宣言2018
森林・林業の再生を促すため、産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
1. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
2. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
3. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
4. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
5. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
6. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
7. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
8. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
9. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
10. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
11. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
12. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
13. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
14. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
15. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
16. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
17. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
18. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
19. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
20. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
21. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
22. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
23. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
24. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
25. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
26. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
27. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
28. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
29. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
30. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
31. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
32. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
33. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
34. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
35. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
36. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
37. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
38. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
39. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
40. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
41. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
42. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
43. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
44. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
45. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
46. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
47. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
48. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
49. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
50. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
51. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
52. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
53. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
54. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
55. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
56. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
57. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
58. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
59. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
60. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
61. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
62. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
63. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
64. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
65. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
66. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
67. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
68. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
69. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
70. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
71. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
72. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
73. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
74. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
75. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
76. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
77. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
78. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
79. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
80. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
81. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
82. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
83. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
84. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
85. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
86. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
87. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
88. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
89. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
90. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
91. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
92. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
93. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
94. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
95. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
96. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
97. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
98. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
99. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。
100. 産官学連携による共同行動宣言の発出を促す。

【新規加盟者】

この度、当連盟に新規加盟申し込みのあった①上吉野木材協同組合②桜井木材協同組合③株式会社菅生 菅生銘木市場④奈良県銘木協同組合⑤中吉野木材市売協同組合⑥吉野製材工業協同組合吉野材センターの6社・協同組合等について、加盟が承認された。これにより、奈良県内の木材市場の全てが当連盟の会員となられた。

【その他】

①次回理事会の日程について、平成31年3月11日(月)開催が提案され、了承された。
②台風19号、20号及び24号によって、会員市場の施設に被害報告のあった関東支部、北陸支部、近畿支部及び九州支部対して、連盟からお見舞い金を送ることについて、提案・了承された。なお、7月の豪雨で被害のあった中国支部及び四国支部への御見舞い金贈呈については、8月27日に開催された正副会長支部長会議において了承され、見舞金が贈呈されていることについても報告され、了承を得た。

【講演会】

議事終了後、(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会前川洋平主任専門調査員に「発電利用に供する木質バイオマスの証明のためのガイドライン」の適切な運用に向けて」と題してお話し頂いた。

概要は、

1. これまでの取組状況の紹介
・2012年6月林野庁が「発電利用に供する木質バイオマスの証明のための

ガイドライン」策定(原則 認定団体により事業者認定を受けた認定事業者が証明書発行)
・バイオマス協会による運営マニュアルの作成

2. ガイドラインの運用に関する指摘(総務省 行政評価・監視での指)

・誤った燃料区分を適用して納入していた事例
・証明書と根拠書類を入手しなかった、証明書を作成しなかった事例

・証明書の記載内容が不十分だった事例
・現地調査での事案(認定団体認識不足、認定団体としての適性維持、証明書一括発行、月締め証明書発行等)

3. ガイドラインの運用に関する工夫事例
・認定団体間の認定棲み分け・連携し燃料材供給者管理を徹底
・燃料供給取りまとめ者による証明連鎖の確認等

4. 分別管理や証明連鎖の確認
・由来の明確化
・由来の定義
・分別管理のイメージ等

5. よくある質問(Q&A)

■全国優良木材展示会―東海木材相互市場

遠山景一氏(ヒノキ天然木)に農林水産大臣賞

当連盟主催の全国優良木材展示会は11月16日(金)、東海木材相互市場・大口市場(丹羽郡大口町)で開催された。来賓は、猪島康浩林野庁木材産業課長、宮澤俊輔中部森林管理局長及び愛知

県農林水産部林務課山本剛久課長ほか。出品材は、国有林材(木曾ヒノキ材、人工林ヒノキ材等)及び民有林材合せて約3,000m³。

開会に当たり、全市連の西垣泰幸連副会長(西垣林業社長)が、「本展小会は、全国の優良木材のPRと需要拡大のため全市連が長年にわたり、関係各位の御協力のもとに開催。今後、全国各地の木材関係者が一体となり、国産材の安定需給体制づくりを進め、林業、木材産業の健全な発展に取り組むことが重要。全市連としても、国産材の利用拡大及び利益の山元への還元等の課題に積極的な取り組みを進める。」旨の挨拶を行った。

猪島木材産業課長等から入賞者に農林水産大臣賞、林野庁長官賞等を贈呈した。また、天然木曾ヒノキの競りに先立ち、宮澤中部森林管理局長から挨拶を頂いた後、競りが行われた。

民有林材の審査結果は、次のとおり(敬称略)。

▽農林水産大臣賞 遠山景一(ヒノキ天然木240年生90cm 5m)▽林野庁長官賞 山根金一(株)フカミ▽愛知県知事賞(株)河本材木店、鈴木慧子▽中部森林管理局長賞(有)北村材木店、大富部喜彦▽全木連会長賞 大桑透、山根謙治▽全市連会長賞 中原林業、柴田昭治▽全買連会長賞 鈴木康夫、鈴木耕治。

式典終了後は、快晴のもと全国から約270名の買方が集まり、活発な競りが行われた。国有林材等優良材は、関係者が見守る中で、熱気の高まったセリが行われ、最高値のヒノキ天然木には230

万円/m³の高値がついた。更に農林水産大臣賞のヒノキ天然木には、100万円/m³の高値が付いた。



表彰の様子



農林大臣賞受賞材

■全国木材産業振興大会開催



振興大会 全木連鈴木会長挨拶

平成30年10月18日、広島市において、木材関係者が一堂に会し、第53回全国木材産業振興大会が「木をつなぐ・神々の時代から、現在(いま)そして未来へ」をスローガンに開催された。大会には、全木連、全木協連会員、牧元林野庁長官、湯崎広島県知事、地元国会議員等の来賓を含め、約750名が出席した。議事では、都市部での木材利用拡大、森林資源の循環利用に向けた取組、新たな木材需要創出のための技術開発、木材産業振興のための予算確保、合法木材やJAS制度普及等を盛り込んだ大会宣言を全会一致で決議した。記念講演は、出雲大社千家和比古権宮司が講師を務めた。表彰式では、吉条良明前全木連会長及び市川英治前全市連会長等退任団休長に感謝状が、全市連推薦として押本雅壽氏(丸宇

木材市売(株)に全木連会長表彰状が贈呈された。その他、関係者では、亀山正義氏(新東京木材商(協))、名田健吾氏(神戸木材市売協)、小林方之氏(株)福山中央木材市場)、島村武氏(熊本木材(株))に全木連会長表彰状を、金子利雄氏(株)宇都宮総合木材市場)、丹羽耕太郎氏(名古屋木材(株))、山下薫氏(真庭木材市売(株))、矢崎実氏(新東京木材商(協))に林野庁長官感謝状が、飯島義雄氏(東京中央木材市場(株))に全木協連会長表彰状が贈呈された。

■平成29年木材需給表公表

林野庁は、平成30年9月に平成29年木材需給表を公表した。概要は、以下のとおり。

1. 木材需給の概要

(1) 木材需要 平成29年における木材の総需要量は8,172万2千㎡となった。前年に比べて364万5千㎡(対前年増減率(以下同じ))4・7%)増加した。

(ア) 用材 平成29年における用材の総需要量は7,361万1千㎡で、前年に比べて166万9千㎡(2・3%)増加した。

この内訳をみると、製材用材は2,637万5千㎡で前年に比べ22万㎡(0・8%)増加し、合板用材は1,053万8千㎡で、前年に比べ29万㎡(2・8%)増加し、パルプ・チップ用材も3,230万2千㎡で前年に比べ68万3千㎡(2・2%)増加した。用材の輸出量は261万4千㎡で、前年に比べて50万2千㎡(23・8%)増

加した。このうち、丸太は97万1千㎡で、前年に比べ32万1千㎡(49・3%)増加した。

(イ) しいたけ原木 平成29年におけるしいたけ原木の総需要量は31万1千㎡で、前年に比べて1万7千㎡(5・2%)減少した。

(ウ) 燃料材 燃料材の総需要量は780万㎡で、前年に比べて199万3千㎡(34・3%)増加した。

(2) 木材供給 平成29年の国内生産量は、2,952万8千㎡となった。前年に比べて238万7千㎡(8・8%)増加した。輸入量は5,219万4千㎡で、前年に比べて125万8千㎡(2・5%)増加した。

(ア) 用材 平成29年における用材の国内生産量は2,318万1千㎡で、前年に比べて82万6千㎡(23・7%)増加した。

この内訳をみると、丸太は2,291万6千㎡で74万5千㎡(3・3%)増加し、林地残材は26万5千㎡で8万5千㎡(47・2%)増加した。

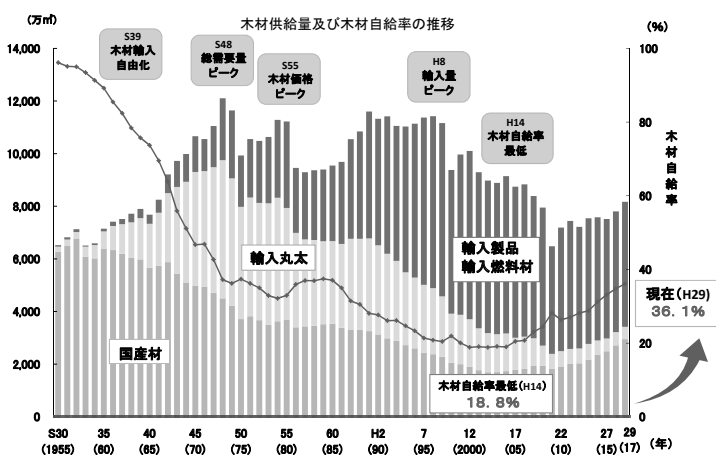
用材の輸入量は5,043万㎡で、前年に比べて84万4千㎡(1・7%)増加した。

この内訳をみると、丸太の輸入量は466万6千㎡で35万3千㎡(△7・0%)減少し、木材製品の輸入量は4,576万4千㎡で119万7千㎡(2・7%)増加した。

(イ) しいたけ原木 平成29年におけるしいたけ原木の国内生産量は31万1千㎡で、前年に比べて1万7千㎡(△5・2%)減少した。

(ウ) 燃料材 燃料材の国内生産量は603万7千㎡で、前年に比べて157万9千㎡(35・4%)増加した。燃料材の輸入量は176万4千㎡で、前年に比べて41万4千㎡(30・7%)増加した。

(3) 木材自給率 平成29年の木材自給率は36・1%で、前年に比べて1・3ポイント上昇した。



■秋の叙勲

平成30年11月3日(土) 発令の秋の叙勲において

坂東正一郎 氏(前全木協連会長・埼玉県木材協会会長)が旭日中綬章を、前田直登 氏(林業協会会長・元林野庁長

官)が瑞宝重光章を受章されました。おめでとうございます。

■合板の日記念式典

11月3日「合板の日」を前に、平成30年11月2日(金)に東京都新木場タワーにおいて記念式典が開催され、2000人余が出席した。当日は、神谷文夫セイホク技師長が合板産業の発展への多大なご功績により、林野庁長官表彰状を授与された。具体的には①国産厚物構造用合板の新たな製品開発及び用途開発②さらなる新製品の開発と普及活動③国産材利用促進への多大な貢献など。また、その後、京都大学生存圏研究所、五十田博教授による「実大実験に見る合板耐力壁の挙動」と題して、住宅の真の性能がどのように求められ、さらに合板を使うことによる効果がどのようなものであるか、等について、動画を多用した記念講演が行われた。更に、全国合板一枚・作品コンペ実行委員会浅田茂裕委員長(埼玉大学教授)から合板一枚コンペ入賞作品の紹介が行われた。

■第63回全国優良木材展示会(東京木材市場(株))

(有)東部産業に都知事賞

東京都木材団体連合会(渡辺 昭 会長)と東京木材市場協会(市川英治会長)は10月4日(木)に、東京木材市場株式会社(市川英治社長)において全国優良木材展示会を開催した。10月3日(水)に行われた審査会においては、14社205㎡の製材品について、「寸法、技術、表示・結束、乾燥、出荷実績」などの項

目ごとに、減点方式で審査した。審査結果は、以下のとおり。

- ①都知事賞・(有)東部産業
- ②産業労働局長賞・東北木材(株)、(有)老川賢吉商店、坂本商店、厚沢部林産工業(株)、久万広域森林組合
- ③都木連会長賞・上大木材産業(株)、協和木材(株)、沓澤製材所(株)、沼崎製材所、本宮木材(株)。

式典では、ご来賓挨拶の後、市川東京木材市場(株)社長から「展示会開催にご尽力いただいた関係者への感謝、秋需の真只中、今こそ国産材需要拡大の好機であり、品質・規格の担保された優良国産材の一層のお買い上を」等の謝辞・挨拶があり、続いて、活発なセリが行われた。

■『ウッドデザイン賞2018』

(最優秀賞は「江東区立有明西学園」(株)竹中工務店ほか)

第4回目となる「ウッドデザイン賞2018」の393点の応募作品の中から、最優秀賞(農林水産大臣賞)、優秀賞(林野庁長官賞)、奨励賞(審査委員長賞)の25点が最終選出された。最優秀賞を受賞した「江東区立有明西学園」は都市部での大規模な学校施設の木構造化・木質化の実現と、アクティブラーニングの実践など木質化による学習環境の向上、地域産業の伝承、感性教育を見事に融合させた質の高い施設づくりが高く評価された。優秀賞には、「いわきCLT復興公営住宅」(ふくしまCLT木造建築研究会「木あみ」)、「ocda」(宮川森

林組合)、「デジタルファブリケーションによる自律分散型生産ネットワーク」(VUILD株式会社)など、建築・空間・建材・部材、木製品、コミュニケーション、技術・研究の分野から幅広く選出された。「ウッドデザイン賞」は、木で暮らしと社会を豊かにするモノ・コトを表彰し、国内外に発信するための顕彰制度で、10月25日には、393点の応募作品の中から189点「ウッドデザイン賞2018」に選出された。12月6日(木)〜8日(土)には「東京ビッグサイト」東展示場で開催される日本最大級の環境展示会「エコプロ2018」内に設置された「ウッドデザイン賞2018」ブースにて上位賞作品展示と共に入賞作品(パネル展示・一部現物・映像)も一挙にご覧いただけます。そのほか、表彰式、受賞作品の詳細や制作背景にあるストーリーを受賞者、審査委員が語るテーマ別セミナー、「ミス日本みどりの女神2018」と受賞者の記念撮影など、木づかいの先進的な取組を見て、聞いて、体験できるイベントを開催する。

(詳細は、「ウッドデザイン賞」公式ウェブサイトをご覧ください。)

■木材アドバイザー講習会会場変更

平成31年2月15日(金)及び2月16日(土)開催予定の木材アドバイザー講習会東京会場の開催場所が、都合により木材会館(東京木材間屋協同組合・136-10082 東京都江東区新木場1-18-1 木材会館)7階ホールに変更となります。

雑記帳

先日NHKで超常現象の番組を放送していた。米国でのUFOについて、証拠のない与太話が科学的検証もなまま、マスコミ等によって拡散し、あたかも本当にあったことのように多くの人々に信じられ、政治問題となり多額の国費が浪費されてゆく過程が事実の積み上げによって判り易く検証されていた。政府を信用しないという米国の国民性も関係しているが、悪意あるいは、一方的な思い込みによる報道の在り方に問題があるようにも思われる。ポピュリズム(大衆主義)と表裏の関係にあるようでもある。木材についても、デマ・風評による被害は、いくつか思い当たる。マスコミあるいは、みんなが言っていることが、本当に正しいのか否か、一度立ち止まって、判断できる素養を身に着けたいものである。ところで、太陽系外からやってきた天体・人工物が科学的に確認されたことは、これまでなかった(過去形)。2017年10月人類史上初めて、太陽系外からやってきた天体がハワイの天体望遠鏡によって発見され、オウムアムアと命名された。その形状は長さ約400m、幅約40mと葉巻のような形、自然の天体としてはかなり奇妙。その軌道は双曲線、すなわち太陽系の外からやってきて、太陽に近づき、通り過ぎて去っていく開いた軌道。何らかの信号が出ていないか観測が行われたが信号は発せられていなかった。その後の観測から自然の小天体である可能性が高いが、太陽系から猛スピードで遠ざかりつつあり、これ以上詳しい観測は難しそうだ。